

NPO 法人 Coffeeaid2021

年次活動報告書2024

ANNUAL REPORT 2024



活動概要 What we do

コーヒーが繋ぐ想いを広めたい



当法人は、2019 年 7 月 9 日に交通事故で亡くなったバリスタであり、焙煎士でもあった深迫忍(当時 29 歳)が日ごろから語っていた「コーヒーは人と人とを繋ぐもの」という言葉を通じて、事件・事故を減らす地域コミュニティの形成をすることを目的に活動しております。

活動内容

事件・事故の犯罪被害者支援を行う各種団体との連携を図りながらイベント等の周知啓発活動、事件・事故等の被害者及びその家族が受ける 2 次被害、3 次被害を減らし、被害を受けた方々の人権を守り、健康で心休まる基本的な生きる権利を保障します。

コーヒーに関わる事業への起業等を目指す方々に対して、精神的な支援、起業に対するアドバイス、技術支援及びコーヒー技術の向上につながる機会を提供することで、コーヒー文化の発展につなげ、コーヒーにより癒される空間が形成される活動を支援します。

犯罪被害者支援を行う各種団体との連携を図りながら、「命の大切さ」を説く講演活動を行うことで、事件・事故が減少し、安全に生活できる環境づくりに寄与します。

代表あいさつ Message

日頃より、「NPO 法人 Coffeaid2021」へのご協力に対し深く感謝申し上げます。

当法人は、2022 年(令和 4 年)12 月 12 日に設立した小さな法人ではありますが、会員及び賛助会員、多くの協賛者やボランティアのご協力により、2024 年度の各事業を実施することができました。

当法人は、暗く埋もれがちな犯罪被害者支援を、もっとも世の中の方々に理解していただき、誰もが、いつでも当事者になり得ることを感じることで、「命の大切さ」について改めて感じていただくことを目的として活動しております。これからも活動を続けていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。



理事長
深迫祥子

2024年度の活動報告 Activity report 2024

【2 次被害者撲滅啓発事業】【被害者遺族支援事業】【コーヒー従事者育成事業】

●Coffee aid Day in Sinagawa～一杯の思いと出会う～



当法人が協力する新しい形態として、これから全国に拡がっていくことを期待しております。

6 月 2 日(同年 3 月 20 日にはプレイベントを開催)には、北品川地域交流施設 CAFE & HALL ours(東京都品川区)というカフェが主体となった犯罪被害者支援の啓発イベントへの協力を行った。狭い空間ながらも、コーヒーブースを設置し、犯罪被害者のパネル展示を行い、多くの来場者を迎えることができました。

このように、当法人ではない団体などが主体となって啓発活動を開催し、



●Coffee aid Vol.4～1 杯のコーヒーで何ができるか～

7月7日には、4回目となる犯罪被害者支援周知啓発イベントを前年度と同じく東京都中野区において、中野区、(公社)被害者支援都民センター、(公社)くまもと被害者支援センター及び(公財)産業殉職者霊堂奉賛会から後援をいただき、Calмест Coffee Shopを始め多くの企



業、団体、個人の方々からの協賛を得て、多くの学生や一般ボランティアスタッフに支えられながら1,000名を超える多くの方々に来場いただき盛会に終わることができました。



これは、これまで犯罪被害者支援とは関係ないと思っている多くの方々に、自分のこととして感じていただけたものと思っており、今回は日本財団の預保納付金事業からも助成金を受けることができたことが、これまでの活動が社会的に評価されたものと思っております。



● Coffee aid Day in KUMAMOTO

11月30日には、法人主催でミニ版の周知啓発イベントをサクラマチクマモト(熊本市)のエントランスホールを借りて初めて実施することができました。この活動は、これまでとは違い企画段階から学生ボランティアに参加してもらうことで、犯罪被害者支援に従事するボランティア育成の側面も有しております。



結果的には、バスターミナルに繋がる通路に面するオープンスペースという場所的な優位性もあり約2,000人の来場者を記録することができました。

これらの活動を通じて、来場された方々からは「犯罪被害という重たく内容ではあるが、コーヒーを通じて明るい雰囲気となり気軽に参加できる。」「命の大切さについて改めて考えさせられた。」などのご意見をいただいております。

また、暗くなりがちな犯罪被害者支援のイベントを、コーヒーを通じることで誰もが身近に感じてもらえるイベントとして、楽しい雰囲気のなかで被害者紹介パネルの展示や後援団体の紹介をするなど、犯罪被害者支援について多くの方々の理解を深めてもらうことができました。



【2次被害撲滅啓発事業】



「命の大切さ」を伝える講演会は、警視庁や熊本県警などの警察関係、東京都や熊本市などの行政機関、学校やPTA等の教育関連機関などからの依頼を受け、28会場にて29回実施し、延べ約6,000人に対し遺族としての想いを伝えることができました。

当法人の講演会は、辛く悲しい出来事だけを伝えるのではなく、当事者がその後どのように前向きに生きていくかということを主眼に置いた内容となっており、講演先からの共感の意見を多くいただきました。

【カフェ開業支援事業】

コーヒーに関心を寄せる若者には、CalместCoffeeShopの協力をいただきながら、普段使うことができないような焙煎機を使用した体験を、県内外の方々に延べ13回実施することができました。

2024年度の収支状況

【収入】

会費収入	220 千円
寄付(クラウドファンディングを含む)	1,380 千円
助成金	5,020 千円
事業収益(講演料など)	58 千円

【前期繰越金】

借入金 212 円を含む	122 千円
--------------	--------

【支出】

管理費(HP 作成費、チラシ印刷など)	119 千円
事業費(CoffeeaidVol.4 等の実施費)	7,054 千円

【次期繰越金】

借入金 713 千円を含む	122 千円
---------------	--------

2025 年度の事業計画 Next Step

事件・事故を風化させないための被害者パネルの展示、中高生や社会人に対する講演を実施するため、自治体、警察、公益財団法人くまもと被害者支援センター、同被害者支援都民センター等の関係機関と密接に連携し、犯罪被害者支援の周知啓発事業を実施していくこととしております。

また、パネル展示に併せてコーヒーチャリティーイベントを実施することで、閲覧者の掘り起こしを図ることにしています。

加えて、これからの社会を担っていく学生ボランティアなど若年スタッフの育成に注力して、犯罪被害者支援の活動の裾野が広がっていくことを目指します。

コーヒー関連事業に従事する者への支援としては、経営ノウハウの提供など運営全般にわたる相談、機器購入に対するアドバイス、自家焙煎を希望する者に対する機器の貸与等を行うことで、起業後の円滑な運営に寄与し、熊本県内における多様なコーヒー文化の育成を図ります。

財政的には、賛助会費や寄付、助成金収入で賄うことにしておりますが、支出に見合う十分な資金が確保できなかったことから、2025 年度事業につきましては、例年 7 月に実施していたチャリティーイベントは費用負担が大きく一旦休止することとし、コンパクトで費用対効果の高いイベントに移行していきます。企業などの大口スポンサーを開拓するなど、活動するための財源の確保が、今後の大きな課題となっております。

活動を支えていただいた皆さま Supporters

warmth coffee、Paul Bassett(株)ワイズテーブルコーポレーション)、PASSAGE COFFEE(株)PASSAGE)、swamp、Fuglen Coffee Roasters(株)フグレンローステリイ)、Raw Sugar Roast(株)スイム)、Life Size Crib(同)CRIBE)、ignis、ONIBUS COFFEE、CONZEN COFFEE(同)めて)、AKITO COFFEE、GLITCH COFFEE & ROASTERS、ACID COFFEE、Sunday Bake Shop(株)サンデーベイクショップ)、qoui canning store(松政耕治)、musumiの各ショップの皆さま、DKSH MES ジャパン(株)、東京都中野区、(公社)被害者支援都民センター、(公社)くまもと被害者支援センター、(公財)産業殉職者霊堂奉賛会、株式会社 STUDIO 誠、株式会社エージーエーコーポレーション、上智大学・東京大学・東京農業大学・早稲田大学のコーヒー研究会の皆さま、上智大学齋藤ゼミの学生、奥田野乃、帝京平成大学の学生、CAFÉ & HALLours の皆さま、宮崎遼、林孝輔、伊藤朋春、コダマコーヒー、ヤギ珈琲、中村焙煎所、リサファーム岡田裕二・こずえ夫妻、市本恵子、上沢陽子、深迫唯、辻、大澤、長尾浩平、日高佑、竹田陽彩、平川茉樹、堀田知恵美、名村柚香、河野梢、根之木もえ、中村莉子、杉本千颯、陣あかり、マルハチ珈琲焙煎舎(八児美也子)、久保木公一、小林憲弘、藤本孝造、熊谷博、西美香、北野由美、本坊優紀子、山名朋子、オジサン丸、田口京弥、カワクボミヤコ、家入基遥、吉坂敬子、松本真紀子、泉彩、深田秀樹、熊本ライオンズクラブ寺田・松本、(株)九建運送、玉名高校生徒会、(株)ホンダオート菊池、ワンノットデザイン奥田、稲吉久乃、青木繁明、田上美智子、田中昌弘、細江菜緒、西村カメラマン、医療法人社団平和会添島歯科クリニック、上塚直子、(株)山鹿蒸溜所、(株)パストラル、高田裕子、新永恵美、サクラマチクマモト、熊本大学珈琲研究會、森澤企画研究舎森澤嘉幸、崇城大学奥田ゼミの学生、熊本県立大学の永田・實亀、JUNCTION Coffee Roaster(田崎慶貴)、犯罪被害者支援大学生ボランティア「くすの輪」、熊本県警、熊本刑務所、府中刑務所、熊本保護観察所、スターバックスコーヒージャパン(株)、dahlia、Calmet Coffee Shop とお客さま (順不同、敬称は省略しております。)